

WWD JAPAN

®
December 8, 2014
vol.1837

ファッション週刊紙WWDジャパン

ウイメンズウェア・デ일리ー・ジャパン WOMEN'S WEAR DAILY FOR JAPAN
FASHION & BUSINESS NEWS vol.1837 昭和54年4月24日第三種郵便物認可
週1回月曜日発行 2014年(平成26年)12月8日(月曜日)発行 2014年12月8日-12月14日

ハースト婦人画報社が
電子雑誌の売り上げを2倍
p.4

西日本最大級のSC
「イオンモール岡山」開業
p.6

YG
エンタテインメント

BIGBANGの大研究

ファッション世界戦略



ラグジュアリー商業施設のデザインを手掛ける

ギャルドが支持される理由とは



上:ギャルドが手掛けたソウルの東大門にあるファッションビル(ドラッグ)地上1階 下:ロンドンにオフィスを持つギャルド

グローバルにラグジュアリー商業施設をデザインするギャルド コウエス・ペイ(以下、ギャルド)は来年、創業30周年を迎える。同社はラグジュアリーブランドのティックや老舗百貨店、レジデンスなどのインテリアデザインやコンサルティング、コーディネートまで一トータルサービスを提供。日本国内ではラグジュアリーブランドの旗艦店のみならず、バーニーズニューヨーク新宿店および横浜店や飯倉うめだ本店など数々の商業施設をデザインし、海外でも多くのプロジェクトを手掛けている。ギャルドが世界中のラグジュアリーブランドや商業施設に支持される理由に迫る。

「今、世界的にブランディングの仕方が変化している。ブラジルのマスターをそのまま日本でデザインに落とし込むだけでは通用しない。ブランドごとに特殊性を持たせた、高度な打ち出しが必要だ。本国とのコミュニケーションをはじめ、より専門的な能力が必要とされる」とギャルドの鈴木克尚社長は語る。「最近、ピーター・マリノ・デザイン・トップ・フィールドから御所の建築家とのコラボが増えてきているのもその理由の一つ」と言う。ギャルドは現在、東京や大阪をはじめ、ニューヨーク、ロサンゼルス、パリ、ミラノ、シンガポール、香港、上海にオフィスを構える。同社のグローバルネットワークが、業界内で圧倒的な支持を得ている理由の一つであることは確かだ。「ニューヨークやミラノに法人があるため、MDに反映しやすいネタが集まりやすく、ライセンスや企画の提案につなげやすい。また、出店やリニューアルなどに関して本国にアプルーバルを取る際、現地にオフィスがあるとアプルーバルできるのが強みだ」と鈴木社長。

ユニティ・スタジオであるヤブ・プッシュバーグのプロデュースによるレジデンスを手掛けた。鈴木社長は「日本からアジアに仕事の割合が徐々にシフトしている」とコメント。韓国のヒョンダイ百貨店のリニューアルなどのプロジェクトも進行している。アジアでは同社が携わった渋谷ヒカリエや飯倉うめだ本店がモダニティとして見られている。同社長は「ターゲットやコンセプトを決めたMD編成で独自性を出せるようにコンサルテーションし、連動したデザインや独自の提案を行っている。また、アジアではホテルの建設ラッシュでコンテンツなどに関してアドバイスすることもある」と言う。現在、海外ビジネスの割合は全体の30~40%程度。アジアを中心とした海外の大型プロジェクトが増えているようだ。鈴木社長は来年初創業30周年を迎えるにあたり、「ミラノ法人との連携を強化し、さらなるグローバル化を推進していく」と意気込む。

Recent Project 1

MILAN / SUSHI B スシB



来年10月開業を控えたミラノのオシャレな店舗が軒を連ねるエリアにオープンした「スシB」もギャルドが手掛けた。約496㎡の幅広なる同店ではスシを軸とした様々な日本食がメニューに盛り込まれた空間で楽しむため、ミラノで話題の店舗になっている。

ミラノのブロー地区のモダンな空間で日本食が楽しめる(スシB)



ギャルドが手掛けた(バーニーズ ニューヨーク)横浜店のバーニーズ パーティス ショップフロア。おとり 横須賀 148 に併設するバーニーズのファッションビル

Recent Project 2

日本をはじめアジアに広がるギャルドのデザイン

Barneys New York Yokohama バーニーズ ニューヨーク横浜店 地上7階&地下1階



石川渥チーフ・ディレクターが手掛けたアマナグループ(ビジュアル・コミュニケーション企業)の「アンド イマ (&Ima)」が11月22日にオープンした。スタジオ、リビング、キッチンなどの3つのゾーンから構成される意匠心溢れる空間デザインだ。11月25日には、地下1階にイタリアン人の人気店「サロネ2007」も移転オープン。シンプルで落ち着いた内装は豪華感がありつつもモダンでシックな印象だ。



17階の「アンド イマ」のスタジオ(「アンド イマ」には7階、8階、9階も併設する。地下1階の人気イタリアン「サロネ2007」も移転オープン)のインテリアは、シンプルで落ち着いた印象だ。

PHOTOS BY TSUKASA NAKAGAWA

石川渥 / 国際デザイン事業部 デザインチーフ・ディレクター

東京大学工学部建築学専攻卒業。1999年一級建築士資格取得。2001年イタリアへ移る。5人からなる「P&P」建築事務所を設立。03年「P&P」建築事務所を退社。05年に創業し、06年「P&P」建築事務所のスタジオを併設する。韓国、ギャルド、コウエス・ペイ入社。13年から現職。韓国のヒョンダイ百貨店など一トータルプロジェクトを手掛ける。



SEOUL / Doota ドゥータ



リニューアルを手掛けたソウルの東大門にあるファッションビル「ドゥータ」が9月にオープンした。「アナザー・ワールド」をテーマに地下2階から地上階まで、フロアごとに全く違う世界観を表現。地下は劇画の中、水、森、空と、階が上に行くにしたがってフロアの印象が変化する。地下1階には韓国人気アパレルブランド「イシキョウ」が移転オープン。ファッション感度の高い若者の注目を集めている。



17階の「アンド イマ」のスタジオ(「アンド イマ」には7階、8階、9階も併設する。地下1階の人気イタリアン「サロネ2007」も移転オープン)のインテリアは、シンプルで落ち着いた印象だ。